

JASAグローバルフォーラム2018 開催報告

JASA国際委員会委員／一般社団法人J-TEA専務理事 大津 健二



ET2018の併設セミナーとして、毎年恒例のJASAグローバルフォーラムが開催されました。今回は「第4次産業革命、グローバルなビジネスチャンスを見逃すな」とのメインテーマを掲げました。そしてこのテーマをIoTの始点から捉える事とし、先端を行くドイツと、追従する中国・アセアンの実情に詳しい方々に講演をお願いしました。また講演後には、講演頂いた方々によるパネルディスカッションの時間を設け、詳しい補足説明やご意見を頂く事が出来ました。

以下にその概要を報告いたします。

■開会・委員長挨拶

廣田 豊氏

国際委員会委員長TDIプロダクトソリューション(株) 代表取締役社長



国家プロジェクトとして多岐に渡る取組に支援を推し進めている中国、ASEAN途上国の取組、ドイツの先進

的取組について、IoT市場に焦点を当てて例に挙げ、私たちはどう対応すべきかを考えるセミナーとしたいと思います。とのご挨拶がありました。

■基調講演

アジアにおけるIoT市場の現状

小島 英太郎氏

日本貿易振興機構 海外調査部アジア太平洋州課 課長



巨大なインドと多様なASEAN各国、各都市の経済状況について、GDP成長率データを交え詳しく紹介して頂きました。更に特にIoT市場に焦点を当てた、インド・ASEAN6か国の市場規模・今後の見通しを、導入事例と共に話されました。また、日本企業の参入事例やこれからの可能性、検討ポイントについて説明されました。

同じ国でも都市と地方の格差が大きい事など、改めて各国の実情を認識できる内容でした。

「中国知能製造」吉林省における取組み～知能製造革新に向けた振興政策。

開発取組と課題、将来展望～

柴 麗氏

吉林省創智科技開発有限公司 会長



青井 孝敏氏

吉林省創智科技開発有限公司 顧問



従来型労働集約的製造から脱する知能製造と呼ばれる製造革新の取組について、中国政府による振興政策のもとで取り組まれている、吉林省長春の事例を紹介頂きました。高生産性、高品質、効率化製造のための先端機器設備開発、IoT活用の工程・品質管理システム開発、ビッグデータ分析の人工知能など、あらゆる最新技術を活用・導入する具体計画についてのお話でした。

まだこれからの課題も多い状況のようですが、製造革新の意気込みは強く、近い将来先進諸国に並ぶ日も来る予感を感じました。

ドイツにおけるIoT取組みとそのソリューション

角田 裕也氏

シーメンス(株) デジタルファクトリー事業本部 部長



講演風景

Industry4.0で産業革命を推進するドイツで、その代表企業の一つであるシーメンスの製造業におけるIoTの取り組みについて、講演頂きました。製品の設計から工程設備設計まで、徹底したシミュレーション技術を駆使する事により、製造現場での試行錯誤や手直しの時間をほとんど無くした、効率的なデジタル化製造工程を実現しているお話しでした。

さすがドイツ、日本もIoT化・デジタル化の競争に負けておれないと思いました。

■パネルディスカッション

引き続き、講演者全員をパネラーとしたパネルディスカッションが、講演受講者からの質問に答える形式で進められました。講演頂いた中国、ドイツについて、日本企業としてどのような協業のチャンスがあるか、その時注意すべき事など、一步踏み込んだお話や感想などをお聞きする事が出来ました。

JASAグローバルフォーラムは今回で9回目となり、組込み総合技術展の中でJASA国際委員会が主催する定着したセミナーとなっており、今年も会場一



杯の受講者にお集まり頂き、好評を博しました。講演者の皆様、その他ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

国際委員会では、今後も活動をさらに活発化させ、JASA会員の方々に役立つ国際情報を発信して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。